



委員長コメント

今回の特集のため、今年3月に耐震工事が完了した南国市役所庁舎を取材しました。30年以内には来るだろうと言われている南海トラフ地震に備えての耐震化ということで、どのように改修されたのか、興味津々でした。

工事概要をお聞きし、耐震ブレースによる耐震化に加え、家具耐震およびサイン改修、トイレやエレベーターの更新、内外装のリニューアルなども行われ、装いも新たな庁舎に見事変わったことを実感しました。地下から屋上まで見学する中で、災害など、いざという時の備え、省エネへの取り組み、来庁者への配慮も目にすることができました。なにより建物安全、そして明るく清潔になったのが嬉しいことですし、庁内の各階を、南国市ゆかりのテーマカラーで統一しているのも素敵です。「予想される地震で壊れることはない。あと30年は大丈夫。」という新庁舎で仕事に励まれる人、新装となった庁舎を訪れる人の笑顔が、これまで以上に溢れることを期待して、取材を終えました。新庁舎の完成、おめでとうございます。

工 事 概 要

■ 工事期間	平成25年12月19日～平成27年3月27日
■ 工事金額	8億6,331万7,440円（内家具耐震およびサイン改修 5,495万6,718円）
■ 工事内容	主体工事 耐震ブレースによる耐震化 電気関係 照明・外灯のLED化 自家発電装置の更新（軽油で最大72時間発電可能） 給排水関係 トイレの更新（洋式便器・多目的トイレ設置） 給排水管更新
■ 設備関係	エレベーター更新、窓ガラスを複層化、冷暖房装置を個別化
■ 内外装関係	外壁の補修・塗り替え 内装（共用部分の壁・床・天井補修） 各部屋の通路側扉改修 玄関前に車寄せ設置 ホール壁のオナガドリレリーフ撤去 壁映写用のプロジェクター設置
■ その他	地下会議室の増設 庁舎南側に駐車場増設

省エネ・節約

庁舎の耐震工事に伴い、重点課題として省エネにも取り組みました。具体的には次の3つです。

- ① 照明・外灯をLED化することで、電気使用量を削減
- ② 窓ガラスを複層化することで、外からの騒音を低減し、室内の保温効果を向上
- ③ 冷暖房装置を各部屋に設置することで、未使用スペースの unnecessary な冷暖房を削減

特に③は、庁舎改修以前のボイラーによる全館空調設備と比較して、冷暖房の効率が良くなりました。

また、個別空調の問題点として挙げられる「消し忘れ」や「使い過ぎ」についても、集中管理システムの導入で常時チェックすることができるようになっています。



これらの取り組みを通して、電気代の節約だけでなく、CO2の削減も大いに期待できそうです。

一方、各部屋（執務室）の内装は従来のまま。明るく綺麗になった庁舎ですが、実は

リフォームしたのは市民の目によく映る所だけなのです。最小限の工事で、最大限の効果をあげようとした苦勞の賜物の「変身庁舎」。この先も活躍してもらいたいものです。

ホテルのようにきれいなトイレ

今回の工事ですっかり生まれ変わったと好評なのが「トイレ」です。

これまでは「暗い」「汚れが目立つ」など、評判の悪かったトイレですが、明るく清潔で、快適に利用できるようになりました。

トイレに近づく、自動で明かりがパッと点灯します。中に入ると、真っ白でピカピカの便器が見えます。洋式は全部の階に、和式は1階を始め、数カ所にあります。くる



りと半回転して開け閉めする、家庭では見られない扉が設置されており、狭い空間が広く感じられます。手洗い場も白で統一。水を受けるボウルの曲線が美しくオシャレで、まるでホテルのトイレにいるような気分させてくれます。新設されたセンサー式の手洗いもとても便利です。

白で囲まれた明るく清潔なトイレの鏡に映る顔は、少し若返って見えるかも？

来庁者が一番多く訪れる1階には、多目的トイレもできました。